

大阪市立

異東小学校

校長名

宮下 敬史

所在地

〒544-0014 大阪市生野区異東3-8-13

電話番号

06-6758-3261

FAX番号

06-6758-0596

HPアドレス

https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671498

QRコード

主な学校行事	
4月	入学を祝う会、学習参観、家庭訪問
5月	春の遠足、どうぞよろしく集会
6月	
7月	プール開き、期末個人懇談会、林間学習
8月	
9月	プール納め、学習参観、秋の遠足
10月	運動会、秋の遠足
11月	修学旅行（6年）
12月	期末個人懇談会
1月	卒業遠足（6年）
2月	学習参観、懇談、クラブ見学
3月	卒業を祝う会

教育目標

「豊かな心をもち、主体的に取り組む、たくましい子どもを育てる」

令和6年度全国学力・学習状況調査		
平均正答率（％）	国語	算数
	58	52

結果概要

国語科、算数科ともに全国平均・大阪市平均点を下回る結果となった。国語科では、全国67.7、大阪市66、本校は58点と約10ポイント弱低く、算数科では、全国63.4、大阪市62、本校は52点と10ポイント以上低かった。ただし、本校が課題として取り組んでいる平均無解答率については、国語・算数ともに全国平均より低い数値となった。児童アンケートでの「自分といふところはありますか」「将来の夢や目標を持っていますか」では大阪市・全国の肯定的な回答より5～8ポイント高い数値であった。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査											
種目別平均値											
性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長距離歩行 (分)	反復横跳び (回)	20mシャトル (回)	50m走 (秒)	立ち幅こぎ (回)	7分間走 (分)	合計得点		
男子	15.75	17.36	29.30	43.23	37.57	9.52	127.86	16.04	47.25		
女子	16.26	19.74	34.12	43.15	30.24	9.83	126.03	11.26	51.59		

結果概要

男子は反復横跳び、女子は握力・上体起こし・反復横跳びの結果が大阪市・全国平均より高かった。しかし、男子は体力合計点が大阪市・全国平均より明確に低く、特に立ち幅こぎやシャトルボール投げでの差が大きかった。女子は男子より差が小さいものの、総合的に全国水準より低かった。

児童アンケートでの「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では肯定的な回答の割合が大阪市・全国と比べると約9%低く、逆に否定的な回答の割合は大阪市・全国と比べ約10%高かった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が28.6%、女子が21.2%であり、大阪市・全国の割合と比べてとても高かった。特に10分と答えた男子の割合は25%であり、突出して高かった。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

今年度は、ICTの活用に関わって児童用タブレットの遅延再生ソフトを利用した指導方法について研修会を行った。

重点目標

生きる力の育成

【共に高め合う集団の育成】

- 自他を尊重し、高め合う仲間づくり
- 人権教育の推進
- 特別活動の充実

● 主体的にきまきりを守るとする児童の育成

- 行動面での改善に向けた指導の充実（ポジティブ行動支援の取組の充実）
- 組織的な生活指導体制の確立

【主体的に学ぶ力の育成】

- 基礎学力の向上
- 個に応じた指導
- 授業形態の工夫

● 主体的・対話的で深い学びの視点での授業づくり

- 協働的な学び、言語活動、体験活動
- 教科横断的な学習活動、ICT等の活用

● 学習習慣の確立

- 放課後学習の充実
- 家庭との連携

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

【国語】学習指導要領の内容について、「読み・書き・話す」に関しては、前年度より正答率が下がっているが依然として全国・大阪市平均との差は大きい。「言葉の特徴や使い方に關する事項」[情報の扱い方に関する事項]においても全国・大阪市平均との差が大きかった。問題形式の扱いでは、記述式の正答率が低かった。問題文からの読み取りに苦手意識のある児童が多かった。話すこと・聞くことの内容では、授業での音読や物語文の登場人物の心情などを考え、読み取ることで成果が少しずつ表れてきている。

【算数】前年に比べれば、全国・大阪市平均との差は縮まったが、まだまだ全国・大阪市平均よりも低い数値となった。特に「図形の領域では、平均回答率が全国・大阪市よりも12～15ポイント以上も差があった。データの活用分野では依然として全国との差が10ポイント以上ある。基礎学力の定着を図るため、前学年の内容を復習したり、計算力を高める取り組みを行ったりした結果、計算力は向上してきている。今後とも算数の授業の進め方について研究を深め、授業改善に取り組んでいく。

今年度の本校における「児童の運動能力が向上するための取り組み」並びに「運動すること好きな児童を増やす取り組み」について、以下のことを行った。

- ICT機器を使った指導方法の推進
児童用タブレットの遅延再生ソフトを使った授業展開についての研修会を開いた。
マット運動や跳び箱運動における、動きの徒手動画の作成・共有した。
- 遊びのバリエーションについての提示
運動場の利用率を上げるために、多様な遊びを研修会で提示した。
- 全校で取り組む「運動週間」
今年度は「なわとび週間」を設定し、次のことを行った。
・なわとびカードを刷新し、より児童にとってわかりやすいものにした。
・リズムなわとびの音源を用意し、期間中、各学年の体育で使用した。
・なわとびの技の手法を見せる機会を作り、興味関心の向上を図った。
・他学年の児童と一緒になわとびを楽しむ「リズムなわとびの日」を設定した。
- 体育に役立つワークシートや資料の共有化
体育に役立つ情報を校内で共有し、授業に役立てられるようにした。

これらの取り組みにより運動場に出て遊ぶ児童は増えたため、運動に対する意識は変わったと考えられるが、その結果が数値として表れるのはこれからだと考えられる。

校長先生のメッセージ

本校は、1973年(昭和48年)に開校し、令和7年5月1日現在の児童数は411人で生野区では児童数の多い学校です。花と緑あふれる学校で元気いっぱいの子どもたちが、毎日楽しく学習活動に励んでいます。「明るく」「なかよく」「ねばりつよく」を目指し、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいます。また、「いいね!異東」を合言葉に、ポジティブ行動支援(子どもたちの良いところ、頑張ったところを評価し伸ばす)の取組を進めており、その成果が学校生活の様々な場面で現れています。

運営に関する計画

計画のエッセンス

- 授業改善を図り、学習意欲を高め主体的に学ぶ子どもを育てるとともに、個に応じた支援を行うために、授業形態や指導方法の工夫を進める。
- 一人一人の子どもの活躍できるように取り組みを通して、自己有用感を高めるとともに、互いの違いを認め合いともに高めあう集団を育成する。
- 自ら考え、主体的に規律ある行動ができる子どもを育む。
- 児童が落ち着いた学習に取り組むことができるように、環境美化をはじめ学習環境の整備を進める。

中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R6 86%)
- 小学校学力経年調査における「いいね!、どんな理由があってもいいね!なことだと思いませんか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。(R6 84%)
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度(R6 90%)より向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。(R6 92%)

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

ICT機器の活用

本校では主体的に学習に取り組む児童を育てるため、ICT機器の活用をすすめています。タブレットやデジタル教科書などを使用することで、意欲的に調べたり、自分の考えをまとめる姿が見られます。近年、継続して、積極的にプログラミング教育やオンライン授業を実施しています。

国際クラブ

本校では、多文化共生教育の一環として、国際クラブの英語クラブと民族クラブ、中国語クラブがあり、それぞれ週1回の活動をしています。英語クラブでは、C-NETの先生とともに英語でゲームをしたり歌をうたったり楽しい活動をしています。民族クラブ・中国語クラブでは、ルーツのある子どもたちが、自国の言葉や文化、歴史などを学んでいます。

「いいね!異東」ポジティブ行動支援の取組

子どもたちの良いところや頑張りを、的確に評価し、さらなる頑張りにつなげています。

令和7年度は、学年の実態に応じた行動目標をつくり、子どもたちで考え、お手本となる行動「いいね!異東」(行動目標)を設定しました。この目標に向け児童みんなが前向きに取り組んでいます。

家庭・地域等との連携

異東ふれあいまつり

地域の方と消防・区役所の方に来ていただき、異東ふれあいまつりを2年に1度実施しています。令和7年度はふれあい動物ということで、ヤギやポニーなどの動物とふれあうことができました。また、子どもたちは、消防車の見学や地域の方の店を楽しみました。最後に地域での抽選くじがあり大変盛り上がりしました。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上(R6 49%)にする。
- 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。(R6 69%)
- 学校アンケートで健康に関する項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度以上にする。(R6 90%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を58%以上にする。(R6 57%)
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(R6 65%)より増加させる。

34

35